

誰でも使いやすく汎用性をもった 介護ロボットの開発

野々市市介護アンケート

野々市市のある介護施設で行ったアンケート結果である。(17名解答)
アンケートには主に次の3つの問題点が挙げられていた。

現在の介護への不満・要望がある	はい	いいえ	無回答	計	
	8	3	6	17	
ロボットで解消可能か	はい	いいえ	わからない	無回答	計
	1	8	3	5	17

現状の問題点

- ・賃金雇用問題
- ・体力的問題
- ・コミュニケーション問題

- ・賃金の低さ・介護の大変さから、介護者になる若者が減っている
- ・移乗作業などの体力的負担とコミュニケーションの難しさ
- ・ロボットに対する抵抗感



本プロジェクトは、ロボットに代用可能な作業として**ベッドから車いすへの移乗作業**に注目し、その負担を軽減するロボットを開発することを目的とした。

目標：介護者の負担軽減

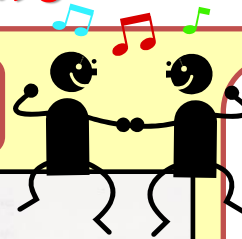
要求

- ①介護者の**体力的負担**を軽減
- ②**汚れにくく**してほしい
- ③横になっている時に**快適**に過ごせる

アイデア

- ①ベッドから被介護者を**起こすことなく**、車いすに移動させる機構
- ②ベッドの素材に**抗菌・脱臭加工**
- ③-1空気清浄器・寝心地のいい素材を使用
③-2モニターをつけることで、テレビや音楽などの**娯楽を楽しめる**

アイデアイメージ図

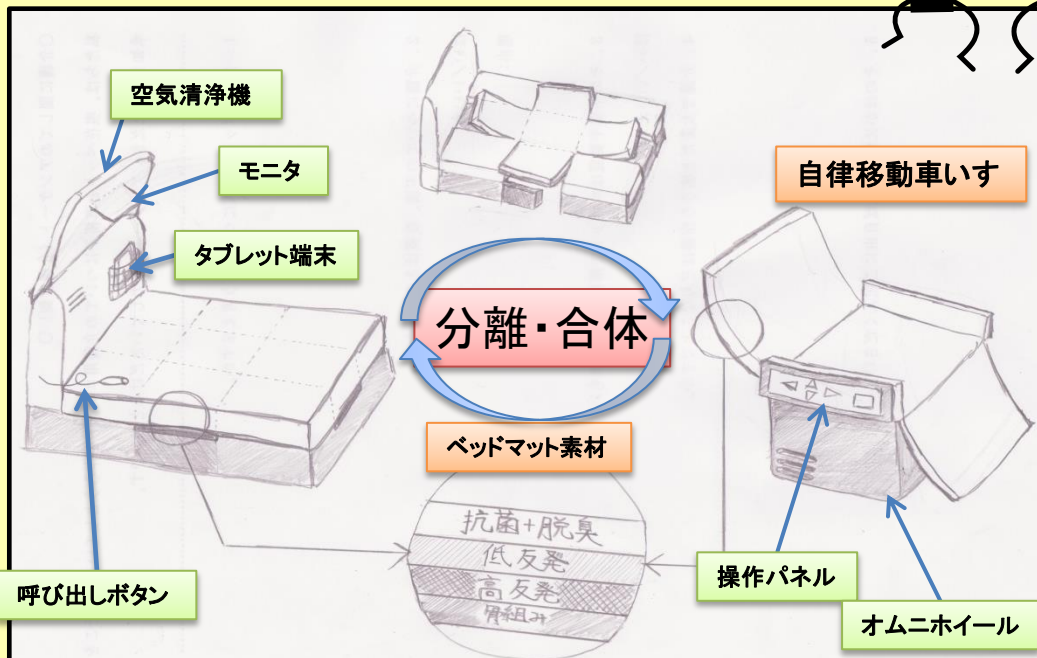


😊長所😊

- ・介護者の腰への**負担減少**
- ・被介護者の**自由度が上がる**

😞短所😞

- ・設備が大がかりになる



2013年度 プロジェクトデザインⅡ
クラス・チーム番号: ER305-5
チーム名: チップ☆スター
メンバー: 加藤雅之, 黒川裕稀,
小泉輝明, 小松崎友介, 坂井祐樹,
柴田賢人, 白倉拓
担当教員: 芦野 慎 先生